

金長

總秘第 六二 號

社長 根津

常務

專務

監查役

支配

課長

掛長

掛員

技師長

臨時建設部長
工務部長

昭和十七年 七月 三日 決裁

昭和十七年 八月 廿七日起案

工事請負人 幹旋依頼 1 件

西小泉熊若間線路建設工事ヲ施工セシムヘキ請負人
業者ノ指名ニ関シ左案ニ依リ社團法人鐵道工事
統制協力會長ニ照會相成可然哉

迄テ社團法人鐵道統制協力會ノ定款及役員ハ
別紙ノ通りニ有之候

深尾

甲

文書掛
17. 6. 27
豊田

昭和十七年七月三日

東京市本所區小梅一丁目二番地

東武鐵道株式會社

取締役會長 正田貞一郎

社團法人 鐵道工事統制協力會

會長 男爵 中村謙一 殿

拜啓 時下愈々御清祥の段奉大賀候

陳者弊社今般群馬縣邑樂郡大川村より埼玉縣熊谷市に至る鐵道線路敷設の免許相受け候處右線路は時局下重大使命を帯びるものにして急速完成の必要有之候に就ては御多用中洵に恐



東武鐵道株式會社

縮に候得共之が施工に關し特に技術優秀にして堅實なる請負業者御推薦方御配慮相煩度此段及御依頼候

追て本件路線は延長約十三杆地形概ね平坦なるも利根川の横斷と國道第九號路線及國有鐵道信越本線の乗越を含み、其の熊谷より利根川べりに至る約十杆間は昭和十八年末までに開業せしめ其の他の部分も二十年初春までには竣成せしむるの要有之相當取急ぎ居候條御含み置き賜り度候

敬具

社長

事務取締役

技師長

昭和十七年八月七日

第六八號

監査役 工務部長

昭和十七年七月十三日

社団法人鐵道工事統制協力會
會長 男爵 中村 謙

東武鐵道株式會社

取締役會長 正 田 貞一郎 殿

拜啓 益々御隆昌之段奉賀候

陳者本月三日附御申越相成候貴社鐵道新設工事請負人推薦方の件了承仕候就ては御指定の條件に合致し御期待に副ひ得るものとし最も適當と存せられ候左記の者を御推薦致度此段御回答申上候

敬 具

東京市京橋區槇町二丁目三
株式會社 鹿 島 組